

主要施策名:(1)健康づくりの推進

事務事業本数:13

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑤健康で安心な福祉づくり	(1)健康づくりの推進	(1)保健活動の拡充	511-2	狂犬病予防事業	環境整備課
			511-3	防疫事業	環境整備課
		(4)保健・医療体制の充実	514-2	自殺対策推進事業	総合福祉課
			514-3	岱明ふれあい健康センター管理運営事業	保健予防課
			514-4	横島総合保健福祉センター「ゆとりーむ」運営管理事業	保健予防課
			514-7	保健センター管理運営事業	保健予防課
		(2)健康な体づくり	512-2	フッ化物洗口事業	保健予防課
		(3)食育の推進	513-1	食育推進事業	保健予防課
		(2)健康な体づくり	512-3	健康増進事業	保健予防課
			512-4	がん検診事業	保健予防課
			512-5	レディース検診事業(乳がん・子宮頸がん)	保健予防課
		(3)食育の推進	513-2	食生活改善推進員協議会事業	保健予防課
		(1)保健活動の拡充	511-6	利用者支援事業(母子保健型)	保健予防課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 狂犬病予防集合注射業務	地区巡回し集合注射を行う。	注射件数	件	2001	2584	1649	3119
② 野犬捕獲業務	檻等を利用し野犬を捕獲する。	苦情処理出動回数	回	120	150	132	120
③ 犬の登録業務	飼犬の登録管理を行う。	新規登録数	件	173	210	203	200

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(注射件数)	2001	2200	1649		3119	
投入コスト合計(千円)	5,307	5,630	5,318		5,665		
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	3	3		2		
コスト評価(対前年比)	***	103.64%	(↑)	79.35%	(↓)	177.56%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 登録犬注射率	注射件数/登録件数	%	100	100	100	100
			56.7	81.0	77.5	
2						
* 成果未達成時の理由	国内での狂犬病発生がないことが接種率低下につながっていると思われる。また、直接かかりつけ医での接種のほか、犬の病状によりやむを得ず接種を見合わせているケースも少なからず存在していると推測される。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	地区に出向き実施し、また、設定日時に都合が悪くても動物病院でできることを通知や問い合わせで周知し、市民サービス、接種率向上を図ったが、浸透しなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	狂犬病予防法により予防注射が義務であることを、特に未接種犬飼い主に対する催告書の送付、対象犬の台帳確認(高齢犬整理)により接種率向上、効率化を目指す。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	狂犬病の発生を防止するためには、継続して予防注射の必要性を啓発していく必要がある。また、野犬や行方不明犬の相談が依然として多数あることから、犬の登録と適正飼育を啓発し、有明保健所と連携・協力して捜索、捕獲等を行う必要がある。	評価責任者 塚本 昭広
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 側溝用消毒剤配布事業	消毒剤を配布し害虫発生を防ぐ。	配布袋数	個	112	118	86	160
② 屋内消毒機貸出業務	噴霧器を貸出し害虫発生を防ぐ。	貸出し可能台数	台	6	6	6	6
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817			
投入コスト合計(千円)	2,257	2,247	2,171	2,646				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	99.88%	(↓)	102.66%	(↑)	81.44%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 側溝用消毒剤配布率	年間に申請された数に対し、配布した数の割合	%	100	100	100	
2 屋内消毒機(噴霧器)貸出率	年間に市民又は行政区等に申請された数に対し、貸し出した割合	%	100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
公平性	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	温暖化による害虫発生を通年化が予想され、薬剤保管、機器整備等防疫体制の維持に努めた。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	一定の必要性があり、市にも感染症防止対策として直営の余地がある事業であるが、需要を見計らい、在庫適正化を図る。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	評価責任者
屋内消毒機の貸し出しや、やぶ蚊発生を防止する薬剤を配布することで、公衆衛生の向上が図られている。消防団による地区内家屋の屋内消毒を行っている地区もあることから事業継続の必要がある。	塚本 昭広

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 自殺予防相談会業務	臨床心理士による相談会を実施する。	相談会実施回数	回	16	16	16	16
② 自殺予防啓発事業	広報紙等で啓発を行う。	啓発実施回数	回	1	1	3	3
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算		
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817		
投入コスト合計(千円)	1,959	1,950	2,525	2,565			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	99.86%	(↓)	76.62%	(↓)	97.69%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 臨床心理士相談件数	臨床心理士による相談件数	件	32	32	32	32
			24	21	19	
2						

* 成果未達成時の理由 庁内関係各課においても相談事業を設けられることもあり、相談者が分散した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない。) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	「自殺予防相談会」に加え「自殺予防啓発事業」を実施した。内容は自殺予防の講演会を玉名市役所と玉名中学校にて行った。また、玉陵小学校にて「いのちの大切さ」をテーマにした写真展を開催した。今後も継続的に実施し、自殺予防対策の推進を図る。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	玉名市においても、悩み事や心配ごとの「解決策」や「心のケア」を必要とされる方が多数いらっしゃる。自殺の原因となる要因や背景を臨床心理士に相談し問題を解決し自殺防止を推進する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	若年層の自殺が増加傾向にある。しっかり地道に事業継続していく必要がある。	評価責任者 渡邊一正
-------------------	--------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 岱明ふれあい健康センター指定管理業務	指定管理者による施設の管理運営を行う。	開館日数	日	310	308	307	312
② 岱明ふれあい健康センター維持管理業務	指定管理者との協定に基づき市の施設の修繕等を行う。	修繕件数	件	2	2	1	2
③ ふれあい健康センター空調及び照明改修工事	カーボン・マネジメント強化事業を活用した空調や照明等の改修工事。30年度に南側の空調照明、31年度に北側の空調照明を改修する	工事件数	件	***	1	4	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(入館(利用者)者数)	53813	49397	51928	51928
投入コスト合計(千円)	30,959	78,198	156,083	35,485
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	3	1
コスト評価(対前年比)	***	36.34% (↓)	52.67% (↓)	439.86% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 入館(利用者)者数	入館(利用)者の延べ人数	人	57000	53813	49397	51928
			53813	49397	51928	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	公共施設配置計画に基づき、施設の保全を計画的に進める。H30年度は本館南側の空調・照明、R元年度は本館北側の空調・照明改修、およびトレーニング室の天井改修を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	策25年が経過しており、修繕が発生していくことが予想される。発生する修繕に随時対応しつつ、適切な維持管理を目指す。R5年度の指定管理更新において現在の社会福祉協議会から民間企業への指定管理者変更を予定している。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	公共施設配置計画に基づき、岱明地区市民のふれあいの場として現状のまま事業を継続する。老朽化による補修を行う一方で、低調な施設稼働率を少しでも向上させるため、指定管理者である社会福祉協議会と協議しながら、改修と運用の工夫に取り組んでゆく。	評価責任者 井上 和宏
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 横島総合保健福祉センター「ゆとりーむ」指定管理業務	指定管理による施設の管理を行う	開館日数	日	337	335	336	338
② 横島総合保健福祉センター「ゆとりーむ」維持管理業務	指定管理者との協定に基づき市が施設の修繕等を行う	修繕件数	件	5	6	7	2
③ 横島総合保健福祉センター「ゆとりーむ」空調設備改修事業	空調改修のための設計委託、本体工事を行う	設計・工事件数	件	2	1	1	2

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(交流センター、トレーニングセンター利用者数)	136629	135246	129923		129923
投入コスト合計(千円)	62,717	67,260	133,000		133,123	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1		1	
コスト評価(対前年比)	***	92.30% (↓)	48.58%	(↓)	99.91%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 交流センター、トレーニングセンター利用者数	交流センター、トレーニングセンター利用者の延べ人数	人	134702	136629	135246	129923
2 保健福祉センター利用者数	保健福祉センター利用者の延べ人数	人	20400	20727	17203	15891

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、施設の利用制限などを行ったため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	施設の老朽化により機械故障等が発生しているため、営業に差し障る受電設備や利用者の安全に関わる排煙窓などを優先して、7件の修繕を実施した。老朽化した空調照明等の改修工事も進んでおり、5期計画のうちの第4期(温泉棟側)の工事が完了した。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染拡大防止措置による利用人数の低下がみられ、R3年度も大きく影響がでるものと思われる。利用者の安全を最大限に確保しつつ、施設の営業を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	保健福祉の拠点、横島地区市民のふれあいの場として現状のまま事業を継続する。所管の各施設同様、老朽化による損耗が目立ってきており、指定管理者である社会福祉協議会と協議しながら、今後も安全第一に優先順位を決めながら補修を施してゆく。	評価責任者 井上 和宏
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 保健センター管理運営事業	光熱水費・修繕・委託・工事などにより保健センターの維持管理を行う	修繕・委託・工事等件数	件	***	12	8	7
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算		
	対象(入館者数(利用者数))	0	10892	10822	10822		
投入コスト合計(千円)	0	6,502	4,263	4,048			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	151.54%	(↑)	105.31%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 入館者数(利用者数)	入館者数(利用者数)	人	***	10725	10892	10822
2			***	10892	10822	

* 成果未達成時の理由 3月に新型コロナウイルス感染拡大防止対策として施設の借用を停止したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	H30より保健衛生総務費から保健センター管理事業費を分けて、維持管理費用を算出できるようにしている。公用車のパンク修理や誘導灯のバッテリー劣化のため取替修繕を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	保健センターは築30年を超えており、突発的な修繕が発生しているが、利用者の安全や影響が大きい修繕から優先的に対応し、施設の維持管理を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	施設利用者はもとより職員の安全性を確保しつつ、危険度、損耗状況および修繕の優先順位等を見極め、適正な維持管理に努めていく。また市町合併時からの課題と思われる、執務室の手狭状態が今般のコロナ禍により浮き彫りとなっており、密集回避のための方策を検討したい。	評価責任者 井上 和宏
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① フッ化物洗口事業	年中児・年長児は週5回、児童・生徒は週1回フッ化物洗口液を使用し1分間ふくくうがいを行う。	フッ化物洗口実施者数	人	5120	5205	5161	5100
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(保育園・幼稚園の年中・年長児、小中学校児童・生徒)	5945	5859	5800		5750	
投入コスト合計(千円)	4,863	6,068	4,349		4,282		
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1		1		
コスト評価(対前年比)	***	78.98%	(↓)	138.12%	(↑)	100.69%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 保育園・幼稚園・認定こども園・小中学校のフッ化物洗口実施率	フッ化物洗口事業実施施設の数/保育園・幼稚園・認定こども園・小中学校の数	%	100	100	100	100
			96.3	96.3	93.6	
2 12歳児の一人平均むし歯数	12歳児における一人平均むし歯数	本	0.84	0.70	0.87	0.74
			0.76	0.77	0.77	

* 成果未達成時の理由 H31年度は、対象である年長児への実施が難しいとの事で、H30年度は実施していた1園が実施できなかった事により、洗口実施率は低下した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 [23]		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	令和元年度中に全園、全小・中学校導入に向けて働きかけを行ったがフッ化物に対する理解が得られず、全小・中学校では実施できているが、保育園・幼稚園では一部導入出来なかった。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	当初の計画である全園と全小・中学校の実施維持を目指す。未実施の保育園・幼稚園については、フッ化物洗口事業の協力依頼文を発送し、経過をみながら県や園歯科医と連携し、導入を目指していく。また、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、早期に開始できるよう支援しつつ、一人でも多くの園児、児童、生徒が実施することを目指し、継続支援していく。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	関係各位の理解と協力を得ながら、全園・全校の完全導入に向けて今後も粘り強く推し進めていきたい。コロナ禍により実施現場での制約もある中で、全身の健康に大きな影響を及ぼすとされる歯と口腔の健康づくりの重要性についての啓発も強化していきたい。	評価責任者 井上 和宏
-------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① たまな健康食育フェア実行委員会	会議を開催し、計画の進行管理や事業の検討を行う。	会議開催回数	回	3	4	3	3
② たまな健康食育フェア開催業務	たまな食育フェア等を開催し「食」の重要性を伝える。	たまな食育フェア開催回数	回	1	1	1	1
③ 第3次玉名市食育推進計画策定事業	※目的は食育を推進するために第3次食育推進計画を策定する 計画実施期間 平成29年度から平成33年度まで	計画策定検討会議	回	***	***	***	***

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(フェア実行委員会参加者数・食育講演会参加者数)	285	280	240
投入コスト合計(千円)	5,370	7,120	5,171	5,372
対象1単位あたりのコスト(千円)	19	25	22	22
コスト評価(対前年比)	***	74.10% (↓)	118.02% (↑)	96.26% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 食育講演会参加者数	たまな食育フェア時の食育講演会の参加者数	人	200	200	180	180
2			200	180	180	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	c
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	前回のフェアの反省をもとに、講演会会場にはブースを設置せず、ブースの数を減らして開催した。講演会の内容は地元の専門医を招いて行ったため、内容も来場者の健康と食を見直すきっかけとなり、前年度に比べて好評だった。全体の来場者数は前年度同様だったが、関係者が約半数を占めており、一般の参加者が少なく、また、30、40代の若い参加者が約1割と少ない。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了			
次年度への予算反映(連動) 【27】	この事業の意図である、「健全な食生活を送るために食に関する知識や理解を高めながら食べる力・生きる力を身につける事ができる」という目的や、コロナ感染拡大防止、市の厳しい財政状況等を踏まえ、方策の再検討が必要である。			
	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	基本的に第3次食育推進計画に沿って各事業を進めていくべきと考えるが、健康食育フェアについては、今後のコロナ感染対策の動向や行財政緊急対策を踏まえ、実施方法ひいては費用対効果・労働対効果を再度検証すべきと考える。	評価責任者 井上 和宏
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 健康診査等業務	生活保護受給者への健康診査及び肝炎検査、人間ドック受診者への歯周病・骨粗しょう症検査の補助を行う。	肝炎ウイルス検査受診者数	人	40	39	32	58
② 国保会計への繰入金業務(人間ドックオプション分等)	特定健診が保険者に義務付けられたため、人間ドックなど国保会計で行う健康増進に関する義務のうち、特定健診以外の経費の繰出しを行う。	受診者数	人	1118	940	929	1168
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(受診者数)	1118	940	929		1168	
投入コスト合計(千円)	25,329	15,308	14,367		19,853		
対象1単位あたりのコスト(千円)	23	16	15		17		
コスト評価(対前年比)	***	139.12%	(↑)	105.30%	(↑)	90.98%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 肝炎ウイルス検査受診者数	検査受診者数(集団、個別)	人	50	50	50	50
			40	39	32	
2 健康診査(生保)受診者数	集団健診の健康診査(生保)受診者数	人	10	10	10	10
			1	4	3	

* 成果未達成時の理由 生活保護受給者の方へ受診会場での健康診査の受診勧奨ができていなかった。くらしサポート課との連携強化が必要。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	検診申込書の発送時期に、くらしサポート課へ健康診査のチラシ配布を依頼したが、受診者数の増加にはつながらなかった。受診会場でも積極的な呼びかけが必要と思われる。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も引き続き、受診者のニーズを適切に捉え、さらなる安定した事業運営に努める。肝炎ウイルス検診の個別医療機関での受診をしてもらえるよう特定健診との連携を図る。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	受診者のニーズを的確に捉えることが本事業の最大のポイントと考える。その意味では、成果指標の変更は適切な判断と評価する。今後もアイデアを出し合い、取捨選択をしながら受診者の健康増進に取り組みたい。	評価責任者 井上和宏
----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① がん検診事業	対象者に健診希望調査を行い、受診券を発送する。	健診希望調査発送数	人	49689	49592	49267	49003
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(健診希望調査発送数)	49689	49592	49267		49003	
投入コスト合計(千円)	58,213	57,436	56,219		59,740		
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1		1		
コスト評価(対前年比)	***	101.16%	(↑)	101.50%	(↑)	93.60%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 検診受診率(胃)	29年度から計算方法を変更 受診者数÷がん検診対象年齢の全住民	%	30	30	30	15
			6.47	10.7	9.8	
2 検診受診率(大腸)	29年度から計算方法を変更 受診者数÷がん検診対象年齢の全住民	%	30	30	30	15
			10.86	10.0	9.8	

* 成果未達成時の理由 玉名市が実施する検診以外で受診をされた方の受診状況が把握できず受診率に反映できていない。また、土日での健診実施日数を増やしたが受診率の増加は見られなかった。勧奨方法と利便性の向上が必要と思われる。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす ・市が事業へ関与する必要が薄れている ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である ・事業開始当初の目的から変化してきている ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない 	妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い
<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	b やや高い		
<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い		
<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い		
<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	b		
<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている			
<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない			
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<ul style="list-style-type: none"> ・直近2年で、コスト削減の努力または検討はしているが、下がる余地は小さい ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 	効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い
<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い		
<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	c やや低い		
<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	a		
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の目標値を達成した ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる ・法定事務であり成果は求めにくい ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある 	有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		a 高い
<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い		
<input checked="" type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い		
<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい	d 低い		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	c		
<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある			
公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・負担率【 0.00 %】 	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(健診業務については、医療機関に委託しているため)		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	集団健診について、土日の実施日数を増やしたが、あまり受診率の増加にはつながらなかった。今後も受診者のニーズを注視し利便性向上に努め受診率向上につなげたい。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	高齢者は集団健診を夏期に実施しているため熱中症などを心配し受診を控えられている方もいると思われるので、肺がん検診などの一部の検診について秋季に実施し利便性を図り受診率向上に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	がんが死因の上位という認識は十分に市民に浸透していると思うが、まだ健診の受診率へは直結、反映しているとは言い難いと思う。技術面、環境面等でさまざまな制約がある中で、健診メニューを充実させ、受診者の利便性を少しでも高めながら取り組みたい。	評価責任者 井上 和宏
-------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① レディース検診事業(乳がん・子宮頸がん)	対象者に無料クーポン券を送付し、検診費用を負担する。	クーポン券交付人数	人	718	673	664	679
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(クーポン券交付人数)	718	673	664		679	
投入コスト合計(千円)	3,009	2,906	2,343		3,111		
対象1単位あたりのコスト(千円)	4	4	4		5		
コスト評価(対前年比)	***	97.05%	(↓)	122.37%	(↑)	77.01%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 レディース検診受診率(子宮頸がん)	クーポン対象者の受診率=受診者÷クーポン対象者	%	50	50	50	20
			8.63	13.33	13.55	
2 レディース検診受診率(乳がん)	クーポン対象者の受診率=受診者÷クーポン対象者	%	50	50	50	35
			36.9	32.68	29.51	

* 成果未達成時の理由 国保以外の受診者は、事業所検診で受診される方が多く玉名市の検診を受けられる方が少ないため。また、受診履歴等の確認ができるような連携が必要と思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(国からの補助事業であり受益者負担を求めるのは難しい) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	乳幼児健診時の子宮頸がん検診受診勧奨により受診者を増やすことができた。乳がん検診については、受診率を減少させる結果となってしまったため、受診者のニーズを把握し、利便性の向上を図る。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	子宮頸がんについては、昨年に続き、乳幼児健診時に勧奨チラシを配布し、受診勧奨を行う。乳がん検診については、医療機関での受診者が少なかったため、医療機関での受診勧奨を積極的に行ってもらおう働きかける。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	婦人がんは近年若い世代の罹患率が非常に高いこともあり、積極的に勧奨していきたいところではあるが、感覚的な部分で若い世代の方が市の健診を避けがちな傾向であることも推測できる。目標値にこだわり過ぎずに1%でも受診率が向上できるよう取り組みたい。	評価責任者 井上 和宏
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 食生活改善推進員協議会支援業務	総会、研修会、学習会を開催し、推進員の活動を支援する。	研修会等延べ参加者数	人	465	424	403	200
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(食生活推進員の活動参加者数)	2210	2200	2200	1000
投入コスト合計(千円)	5,611	8,566	5,586	6,071
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	4	3	6
コスト評価(対前年比)	***	65.21% (↓)	153.35% (↑)	41.82% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 食生活改善推進員数	加入者数	人	180	170	170	160
			169	169	160	
2 食生活改善推進員地域活動回数	成人病予防や男性料理教室、災害食の講習会などの活動回数	回	2500	2100	2100	1500
			2210	2,032	1894	

* 成果未達成時の理由 会員の高齢化とそれに伴う会員数の減少が大きいと考えられる。会員の養成を目的とした「ヘルスアップ教室」の再開も一方法かと思うが現状のままではマンパワー不足である。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	地域での活動がスムーズにできるよう、校区に応じた学習会の支援、育成を行った。地域では子どもや高齢者を対象にした学習会を行なわれているが、会員の高齢化に伴い会員数の減少が見られた。また、校区の統合に関しては、玉南校区と玉名町校区を統合したがこれ以上は活動範囲が広がり困難と思われる。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	地域活動が出来るよう県や有明支部と連絡を取り合い、今後の代表者会議等で議題として取り上げ話し合っていくたい。今後も組織の体制を見直すなど引き続き支援を継続する必要がある。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	食生活改善推進員協議会支援業務		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	若い世代の取り込み、勧誘の苦戦ゆえの会員の高齢化、減少傾向と思われる。活動の在り方や会のコンセプト等が若い世代の価値観やニーズと合致していないと思われるため、今後の発展はあまり望めないと思われる。現行体制を縮小統合しながら、事業継続を図る。	評価責任者 井上和宏
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 妊産婦・乳児家庭訪問及び健康相談	支援が必要な妊産婦等の個別支援計画作成、相談及び家庭訪問等による支援実施。	母子保健支援員による授乳相談及び母乳ケア対応件数	件	43	69	89	74
② 妊産婦のための心理相談	精神的に支援が必要な妊産婦に対し心理相談員による個別カウンセリングの実施。一人最大3回までの利用。	参加実人員	人	12	23	19	21
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(妊産婦、0~3歳児数)	1500	3026	2990		2927	
投入コスト合計(千円)	10,153	7,707	6,428		6,731		
対象1単位あたりのコスト(千円)	7	3	2		2		
コスト評価(対前年比)	***	265.76%	(↑)	118.47%	(↑)	93.49%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 安心して妊娠・出産・子育てができていると思う者の割合	4か月児健診での健やか親子21問診項目	%	82.8	83.5	83.5	83.5
			81.7	88.7	85.6	
2 地域で子育てしたいと思う者の割合	3.6歳児健診での健やか親子21問診項目	%	94.5	94.9	94.9	94.9
			95.1	95.4	94.4	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(妊産・出産・子育てで心身ともに疲弊し経済的に不安定な妊産婦が対象のため)	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	妊娠期から産後早期支援を充実させ、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和2年度は母子保健支援員の交替があり、要支援妊婦台帳の分析をおこない妊産婦支援実施方法の見直しをおこなう予定。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	特別な支援を要する妊産婦をケアするデリケートな事業である。母子保健支援員の助力を得ながら、また関係機関と連携を密にしながら支援対象となる母子にしっかりと寄り添って業務に取り組みたい。	評価責任者 井上和宏
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------